



各センター長の皆さん。左から落合さん(富士見・狭山台)、堂東さん(入間川・入間川東)、入澤さん(入曽・水野)、板橋さん(水富・柏原)、長谷川さん(堀兼・奥富・新狭山)



利用者からの相談と一緒に考えています



月に1回は連絡会議を欠かさず行います

介護予防と自立支援の拠点として さまざまな支援を行いながら 相談者との信頼を築いていきたい

平成12年度にスタートした介護保険制度は、介護を社会全体で支える制度として定着してきました。しかし、その一方で、日常生活で体動かすことの不足による原因から、要支援や要介護1の比

較的軽度の介護が必要な方が急増し、介護保険制度から給付される費用も年々増え続けています。

25年にピークを迎えるといわれる超高齢社会に向け、制度を安定的に保つためには、介護の必要の度合いが高い方に給付の重点を置くことも

に、介護が必要な方を増やさないと、重度化させない取り組みが必要となります。

そこで、市では、19年度に市内5か所に「地域包括支援センター」を設置しました。同センターには専門のスタッフが配置され、要介護状態になることを未然に防ぐための「介護予防プラン」の作成、利用者やご家族からの相談を受ける「総合相談支援」、虐待や悪質な訪問販売による被害防止、成年後見制度の活用などの「権利擁護支援」、ケアマネジャーの支援と、より暮らしやすい地域とするため、関係機関とのネットワークを構築

する、包括的・継続的ケアマネジメント支援」の4つの業務を柱に、さまざまなサービスを提供しています。

19年度と同センター5か所の相談件数は合計で1万1千216件に対して、20年度は

9月末までの半年で、すでに1万681件と大幅に増えています。このことから、同センターが少しずつ各地域に根つき始めてきたことと同時に、介護予防に関する支援を必要とする方が多くいることが分かります。

「私たちの存在を多くの方に知っていただくために、地域での声掛けを積極的にしたり、自治会の集まり、福祉施設での事業などにも顔を出して啓発活動を行っています」とスタッフが話すように、受身の姿勢ではなく、こちら側から相談しやすい環境を整えていくことの大切さを強調し

施設名	所在地	連絡先
入間川・入間川東 地域包括支援センター	入間川 4 10 15	2955 1114
富士見・狭山台 地域包括支援センター	中央 4 27 13	2969 0080
入曽・水野 地域包括支援センター	南入曽 642 5	2950 5300
堀兼・奥富・新狭山 地域包括支援センター	新狭山 2 8 22	2933 7117
柏原・水富 地域包括支援センター	広瀬東 1 4 13	2933 6888

ます。また、相談の中には経済的な問題や、家庭の悩みなどもあることから、介護予防・自立支援の枠を超え、人と人が信頼し合える関係を作り続けることが包括的な支援につながり、介護保険制度の底辺を支える重要な基盤になっているといえます。

利用者の、いつでも相談できる場所があるので安心して助かります」という言葉に励まされながら、よりよい高齢者社会を築いていけるよう、地域包括支援センターは日々皆さんの近くで活動を続けていきます。

家庭菜園を楽しんでいます



五十嵐 則之さん
(柏原在住)

私は「市民憩いの広場」の家庭菜園で野菜作りを楽しんでいます。

食の安全性が叫ばれる昨今、自分で農作業を試みるのはとてもよい勉強になります。

また、体を動かすので日ごろの運動になりますし、世話をしながらしだいに作物が育っていくのを見るのは楽しみです。

そして、何よりもうれしいのは収穫を迎えた時で、自然の恵みに感謝しながら、自分で育てた野菜を使って、家族と楽しく食卓を囲むことができます。

こうして大いに楽しませてもらえる家庭菜園ですから、自分が借りた区画は、責任を持って適切な管理を行わなくてはならないと思っています。雑草やごみなど、周りで同じように菜園を楽しむ人の迷惑にならないように気をつけています。

また、土壌を改良するなど、自分が手にかけて畑ですから、1回の利用期間が1年なのは、とても短くて残念に思います。

利用の希望者が多いのは承知していますが、せめて3年ぐらいの期間で、同じ畑の区画を使うことができれば、家庭菜園もより充実すると思います。

市の考え方

貴重なご意見をいただきありがとうございます。

「市民憩いの広場」は、勤労者の余暇活動の一環として、土に親しみ、心のうるおいを見出すことを目的に、市内6か所で476区画をご利用いただいています。継続利用のご要望についてですが、多くの人にご利用いただけるよう、1年ごとの抽選とさせていただきます。ご理解のほどよろしくお願いいたします。

担当 商工業振興課

皆さんの「声」をお待ちしています。
お寄せいただく際は、住所、氏名、電話番号をご記入ください。☎2954 6262(代)
✉koho@city.sayama.saitama.jp

みなさんの「声」をお待ちしています。お寄せいただく際は、住所、氏名、電話番号をご記入ください。☎2954 6262(代) ✉koho@city.sayama.saitama.jp

2957 4815

私の宝物 ...

楽しいひとときを写真に残して

私の宝物は、幼稚園から現在までの思い出を綴ったフォトアルバムです。

友人と旅行や買い物に出かけるときには必ずカメラを持参し、楽しい瞬間を写真に残しています。また、



堀沢 陽子さん
(下奥富在住)

このフォトアルバムには、私の周りで笑顔で写る友人が多くいます。気持ちが落ち込んだときには、その笑顔の友に何度も勇気づけられ、元気をもらっています。そんなフォトアルバムを、これからもたくさんの思い出と一緒に増やしていきたいながら、いつか、



元気づけてくれるアルバムはお守りのような存在です

子ども達に母親の歩んできた道を見せてあげられるような宝物にしていきたいと思っています。

今回は友人で笹井にお住まいの方をご紹介します。

Hello ハロー仲間たち

Vol.332



パソコンを通じた楽しい仲間づくりができるのも魅力

パソコンサークルひまわり

私たちの会は、平成17年に有志が集まって作ったパソコンを楽しむサークルです。講師を含めて全員が女性で毎月2回、14名の会員が狭山台公民館で活動しています。会員の平均年齢は60歳代です。主婦同士のとても親しみやすい会なので、見学者も多く来てくれます。

みんな初めは「マウス」の意味も分からない、まったくの初心者でしたが、講師の方の指導で、次第にいろいろな操作ができるようになっていきました。今ではワード、エクセルなどを使った文書作成や写真音楽などのデータを使って、オリジナルのCDを作るなど、パソコンの楽しさにみんな夢中です。また、仲良く明るい雰囲気なので、途中でやめる方はほとんどいません。

パソコンは、私たちの年代こそ使えるようになってほしいもの。脳トレーニングにも最適で、新しい世界が無限に広がります。これからも技術の向上を目指し、みんなががんばっていききたいと思っています。

問合せ 柿沼陽子さんへ